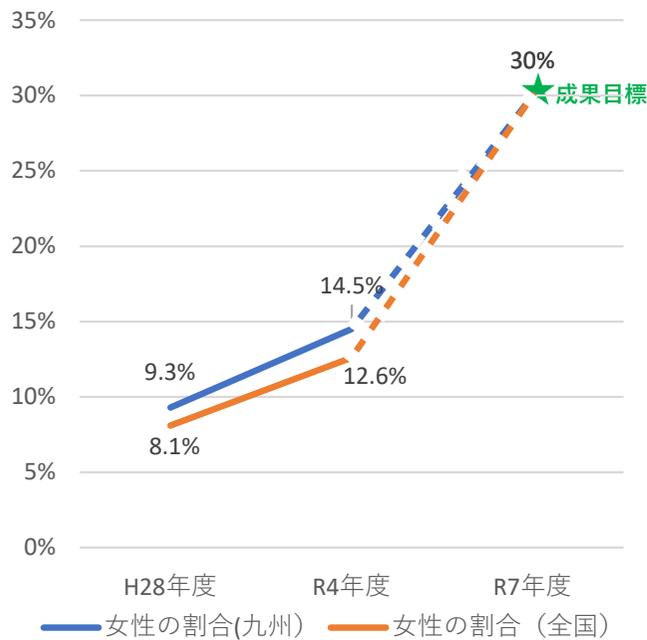


政策・方針決定過程への女性の参画

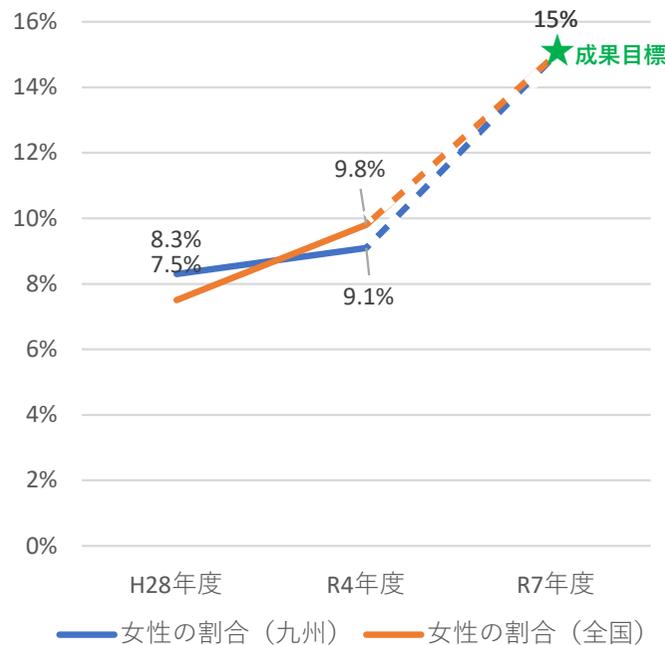
- 第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）では、
 - ①すべての分野において「指導的地位に占める女性の割合が2020年代の可能な限り早期に30%程度となるよう目指して取組を進める」とされており、
 - ②農業委員、農業協同組合の役員に加えて、新たに土地改良区（土地改良連合会を含む。）の理事についても女性の割合の目標を設定。
- 九州地域では、特に土地改良区の理事の割合が極めて低い。農業委員、農業協同組合の役員の割合は増加傾向。

農業委員に占める女性の割合



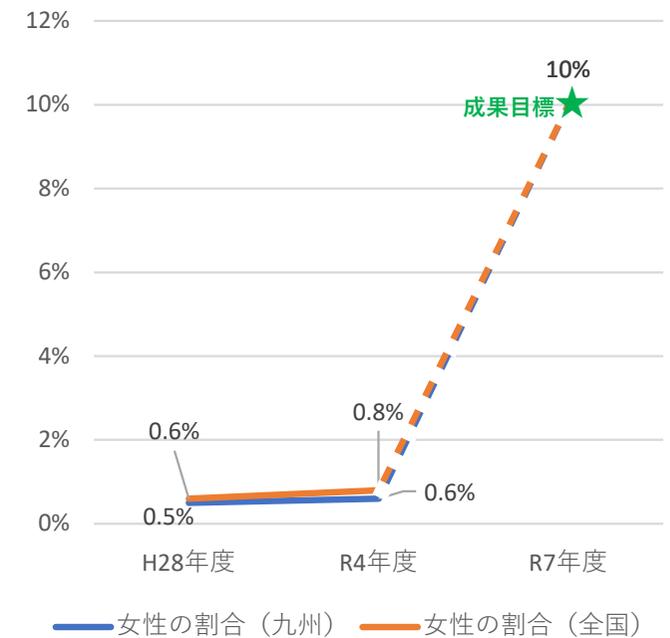
資料：「平成28年度 農業委員への女性参画状況」
 「平成28年度 総合農協統計表」
 「令和3年度 農業委員会及び農協の女性登用の促進に関する状況」

農業協同組合の役員に占める女性の割合



資料：「平成29年 土地改良区運営実態等統計調査」
 「平成29年 土地改良区連合運営実態等統計調査」
 「令和3年度 土地改良区設立状況等調査」

土地改良区等の役員に占める女性の割合

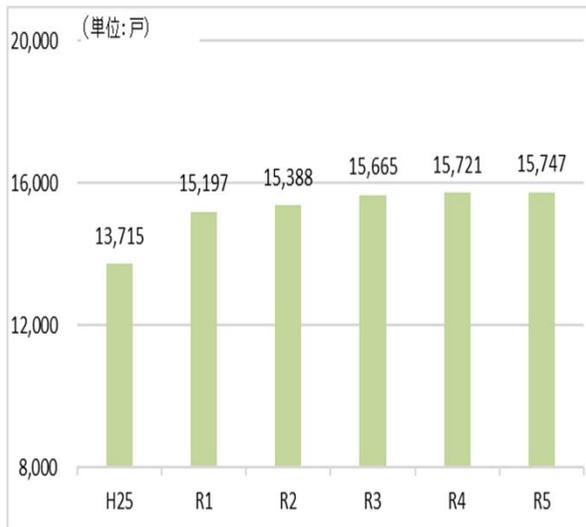


家族経営協定締結数及び認定農業者割合から見る女性の経営参画（九州）

- 家族経営協定の締結数は微増。
- 家族経営協定の締結数は15,747件で、全国の締結数の26.2%を占めるほか、令和7年度までの締結数目標値（7万件）の22.5%を占める。
- 認定農業者のうち女性が占める割合は、近年横ばいであるものの、令和7年度までの目標値（5.5%）を2.3ポイント上回っている。

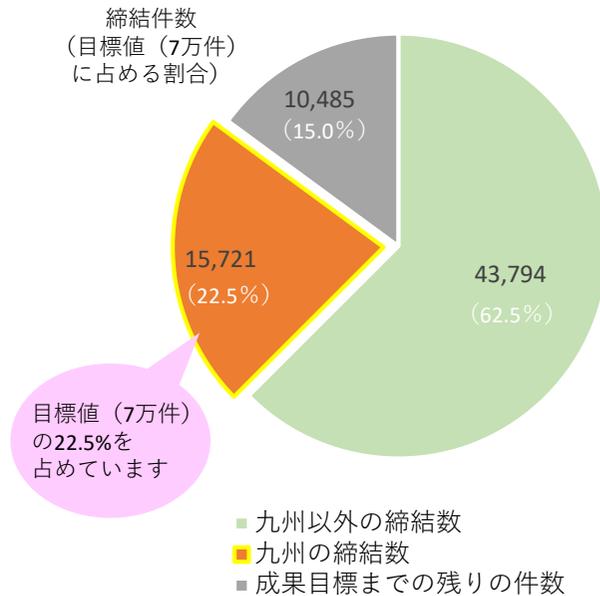
家族経営協定締結数の推移

(件数)



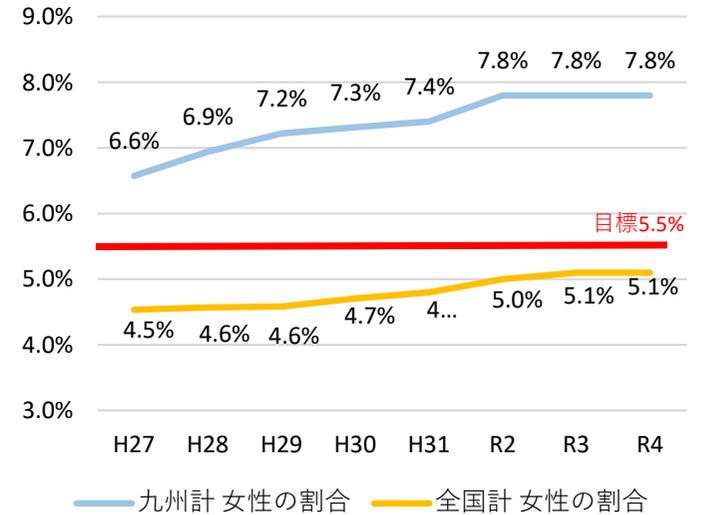
資料：農林水産省経営局調べ

家族経営協定の成果目標に対する締結数の割合



資料：農林水産省経営局調べ

認定農業者のうち女性が占める割合の推移



資料：農林水産省経営局調べ